2026年11月2日

株式会社メイテックグループホールディングス

2027年3月期第2四半期 決算説明会 質疑応答概要

1.日時　2026年10月29日(木)16:00～16:35

2.場所　オンライン会議

3.質疑応答

質問　稼働時間の減少は、一時的なものではなく、構造的な要因なのでしょうか？

回答　ゴールデンウィークの曜日の関係もあったので、構造的か否か、は分かりません。

質問　新卒採用は秋冬から早期に学生との接触を増やすとの事だが、2028年新卒採用の手応えはありますか？

回答　27 新卒の入社数が少ないことは、次年度業績に強く影響するため、再来年以降の業績向上に向けて、28 新卒の採用を強化しなければなりません。足元で、企業側の新卒採用の風向きは変わってきていますが、学生側の気持ちは変わっていないため、引き続き苦しい状況に変わりはありませんが、採用数の増強に向けて取り組んでいきます。

質問　今回の研修施設の閉鎖により、教育研修への影響はありますか？

回答　新入社員研修は全国数ヶ所の分散開催を予定しているが、研修の品質は維持しながら、研修コンテンツは変えるところは変えていきます。
なお、すでに複数の拠点は可変性を持ったオフィス兼研修場所として整備しているため、今回の施設閉鎖による研修品質への影響は無いです。

質問　メイテックの業績が増収増益に対して、メイテックフィルダーズの業績は増収減益となっておりますが、この違いについて教えてください。

回答　メイテックフィルダーズでは、採用経費やシステム費用などで販売管理費が増加したからです。

質問　対価の上昇がメイテックと比較してメイテックフィルダーズが小幅となる要因は？

回答　フィルダーズの事業領域は同業他社が多く、量の重視か、それとも対価の重視か、という点で、難しい面があります。また、人員構成の違い、具体的には若年層の比率が高いことも影響します。経験値やアウトプットの差が単価に反映されやすいため、

需給環境の改善だけで対価を引き上げることは容易ではないです。

質問　メイテックの方が、採用の難易度が高いと思われるが、メイテックフィルダーズの新卒採用が苦戦している理由について教えてください。

回答　両社とも採用には苦戦しているとおり、どちらも難しさを抱えています。やはり、機械や電気系の学生が減っていることが大きな要因です。当社の事業は設計開発領域が多いため、機械系・電気系の学生が適しています。しかし、近年は IT 分野の学部が増加しており、採用対象の学生数が減少しています。

質問　来期の業績について、メイテックフィルダーズの社員数が少ないと今期のメイテックのように収益性の向上で増益を確保することが難しいように思いますが、どのようにお考えですか。

回答　容易では無いですが、採用を強化し、業績向上を図ります。人材確保が将来の成長につながる J カーブなので、目先の利益確保だけを重視する考えはありません。ただし、社員処遇への影響も考慮しながら、売上と利益のバランスは適切にコントロールしていきます。

以上